

## 第5回「中海沿岸農地排水不良WG」について

1 開催日時 平成26年6月4日(水) 14:00～16:00

2 出席機関 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所  
農林水産省中国四国農政局整備部  
鳥取県西部総合事務所地域振興局  
鳥取県西部総合事務所農林局  
米子市企画部企画課、経済部農林課(事務局)

3 報告事項

中海沿岸農地排水不良WGこれまでの経緯

### ○WG設置準備会(H22. 5. 18)

・農地排水不良状況について

H17年度に農家代表を含む検討会メンバーにて検討した米子市彦名・崎津地域における農地排水状況の調査結果を報告。

[調査結果]

中海沿岸周辺の農地は水田と畑が混在し、水田周辺の畑地は標高が低く、水田からの浸透水により地下水位が上昇し、尚且つ中海の満潮時による水位変動の影響を受け排水不良地域となっている。**排水不良地域の面積 104ha**【資料1】

### ○第1回WG会議(H22. 10. 6)

・弓浜半島の地下水位について(モニタリング結果の報告)

台風時の降雨と潮位の関係、日本海沿岸の海面水位の変化、大橋川事業の影響等

・残土利用について

国交省境港湾・空港整備事務所から残土搬出の情報提供。

### ○第2回WG会議(H23. 7. 22)

・崎津モデルほ場の選定について

地元農業者が主体に排水不良対策として公共残土の受入れるためのモデルほ場を選定。

**モデル地区面積 3.3ha(地権者 32名)**

・崎津モデルほ場への残土搬入について

**総搬出量 4,000 m<sup>3</sup>(客土高 50 cm 搬入面積 0.8ha)**【資料2】

### ○第3回WG会議(H24. 7. 11)

・中海沿岸排水不良地域の水路現況調査(砂、泥等の滞積及び樋門状況)について

彦名・崎津地域の中海に排水している水路…92箇所【資料3】

[調査結果]

中海に排水している水路内の砂・泥等の滞積はほとんど見られず、水路の整備状況や樋門の施設管理については概ね良好な状態である。

・残土搬入後の崎津モデルほ場の営農状況について

残土搬入したエリアについては、今まで帯水していた耕作地も嵩上げにより水はけが良くなりネギ等が植えられている。【資料4】

#### ○第4回WG会議(H25.7.17)

・崎津モデルほ場への残土受入れの経過について

国交省出雲河川事務所より残土搬出の情報提供があったが、搬入土の土質がほ場に適さないことや、耕作地への受入れ時期等の調整がつかず受入れを断念した。

・崎津モデルほ場の農振農用地区域への編入等の経過について

地元関係者と意見交換及び意向調査を実施。

・排水不良農地での耐湿性作物の試作の経過について

彦名・崎津地区の農業者等へ事業説明し、試作調整等を図ったが、実施候補農業者の営農時期とほ場の確保が調整できなかった。

#### 4 協議事項

(1) 排水不良農地への残土受入れについて【資料5】

**今後の必要量・・・崎津モデル地区残面積 2.5ha 必要土量 12,500 m<sup>3</sup>(客土高 50 cm)**

崎津モデルほ場への残土搬入は、初回の受入れ(H23.1)以降搬入されていない状況であり、残土搬入情報が入っても搬入土がほ場に適さない状態であったり、受入れ時期等について農業者との調整が図れず断念した経緯もあることから、今後は少量でも受入れが可能となるように現地ストックヤード方式を検討してみてはどうか。これにより、一年を通して客土する時期等の制限がなくなり農業者との調整が容易となる。

#### 5 今後の予定

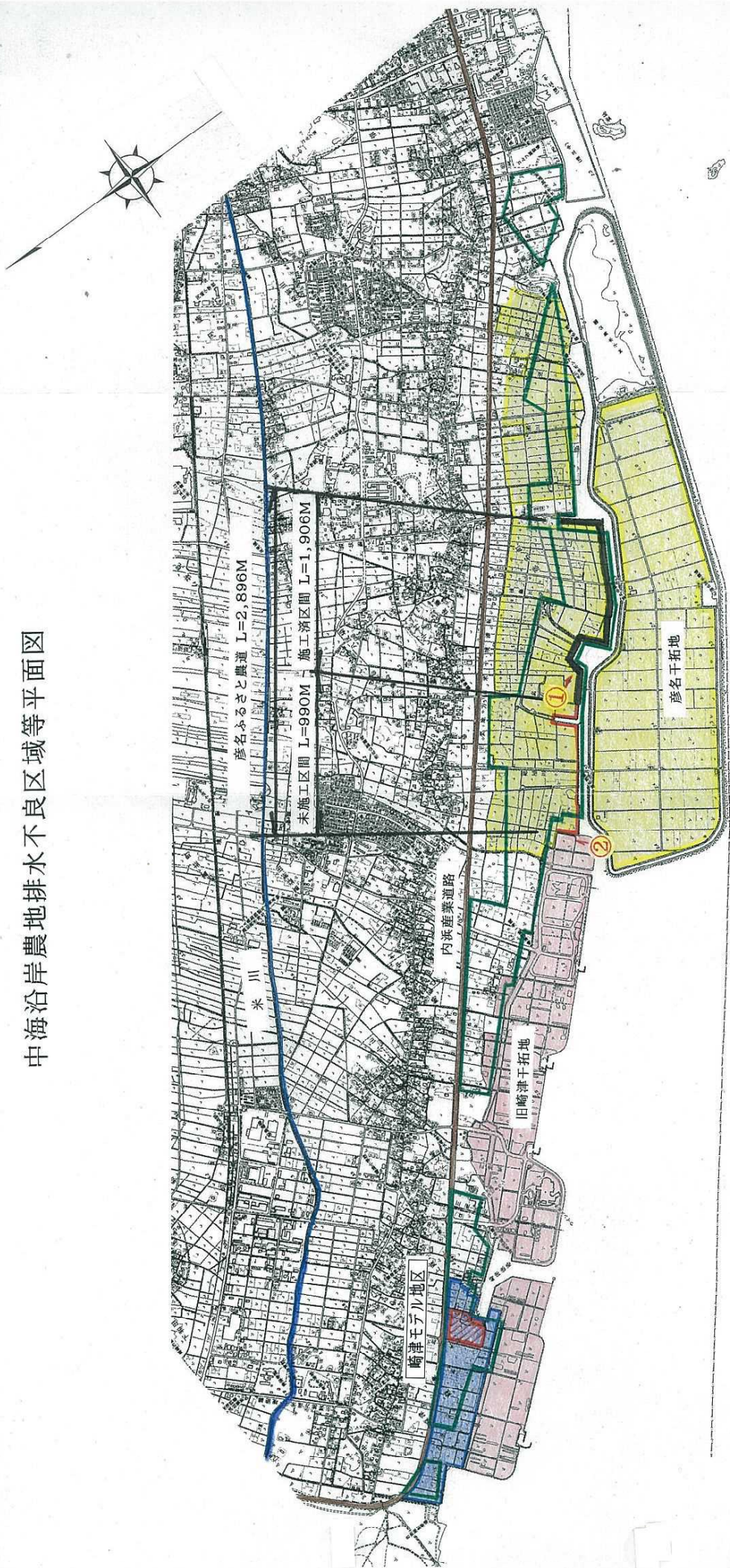
上記検討・協議結果を基に、

(1) 現地ストックヤードからの客土事業について補助メニューからの事業化に取り組む。

(2) 残土受け入れについて、引き続き、「鳥取県西部地区建設発生残土対策協議会」の工事残土情報等を基に、崎津モデルほ場への公共事業の残土受入れを優先的に搬入してもらえるように調整する。



中海沿岸農地排水不良区域等平面図



資料1

凡 例	
	農振農用地区域
	崎津モデル地区 A=3.3ha
	農振農用地区域への編入 検討区域 A=21.8ha
	排水不良区域 A=104ha (TP90以下)





【搬入後】





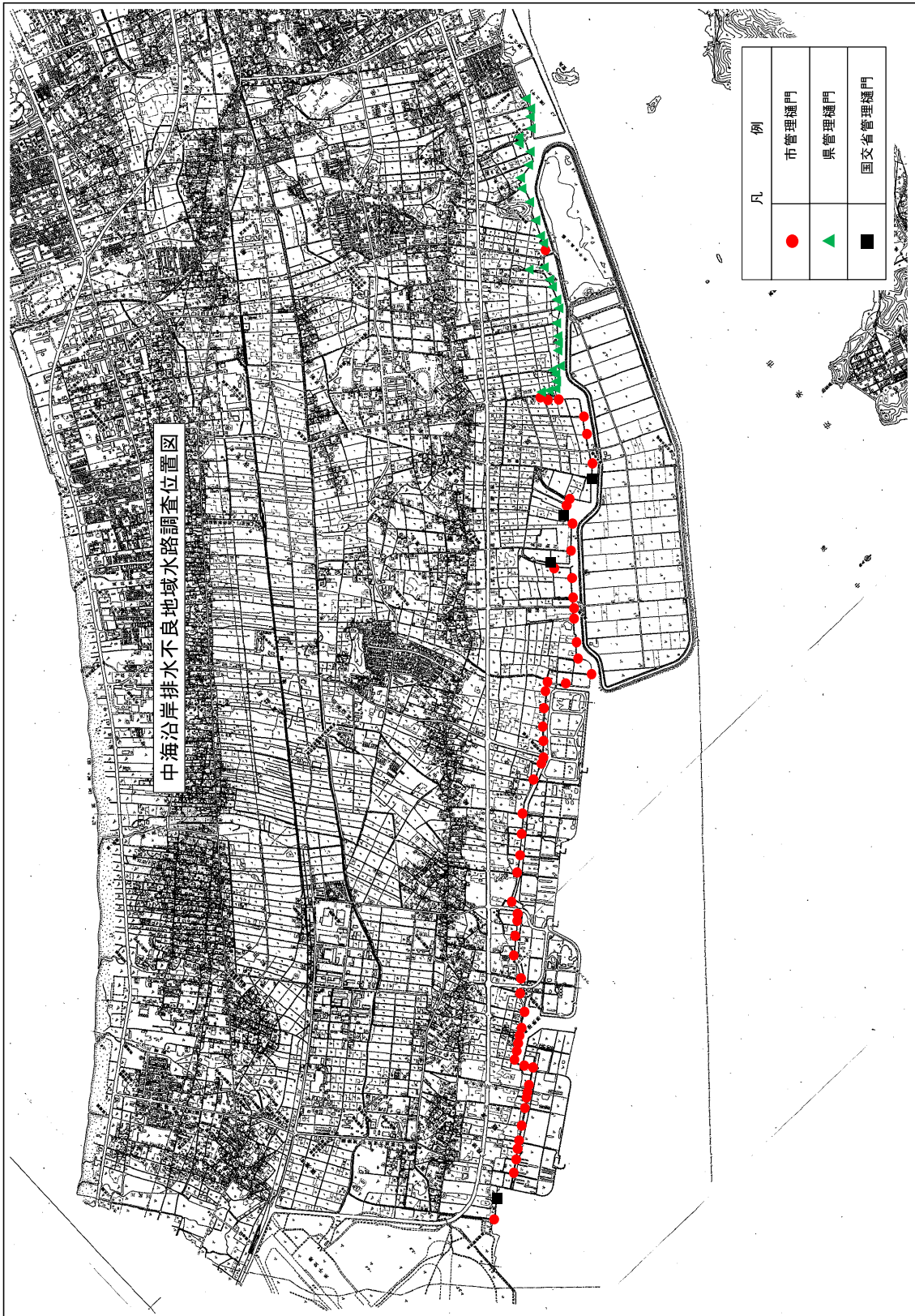
【搬入前】



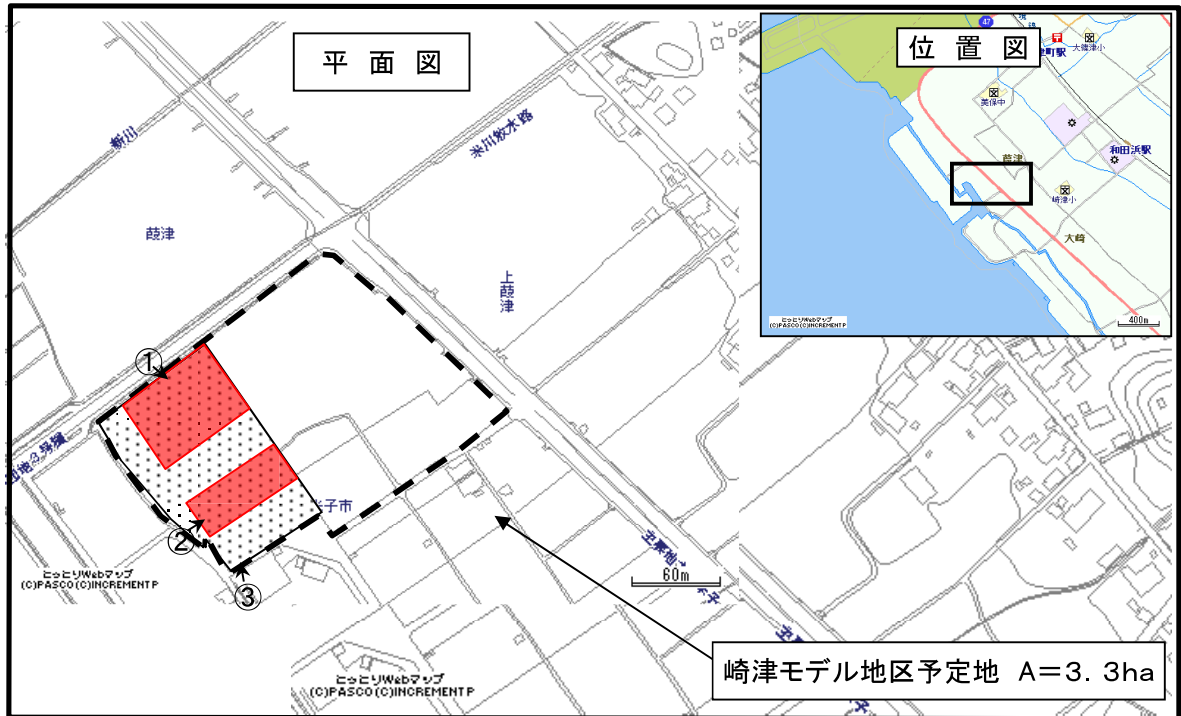
【搬入後】







崎津モデル地区 現在の営農状況 (H26. 6)



①





②



③





## (1) 排水不良農地への残土受入れについて

- ①現在の受入れ状況 **崎津モデル地区 A=3.3ha**
- ・平成22年11月 受入れ量 約3,000m<sup>3</sup>
  - ・平成23年1月 // 約1,000m<sup>3</sup>
- 計 約4,000m<sup>3</sup>
- ・受入れ面積 A=0.8ha (50cm客土)

- ②今後の必要量 **A=2.5ha 約12,500m<sup>3</sup>(50cm客土)**



- ③工事残土の搬出情報について

- ④今後の残土受入れ方法の検討について